

ボツワナだより(第1巻～第3巻)

出水 結花

2022年度1次隊 ボツワナ 環境教育

第1巻 | 2022年6月

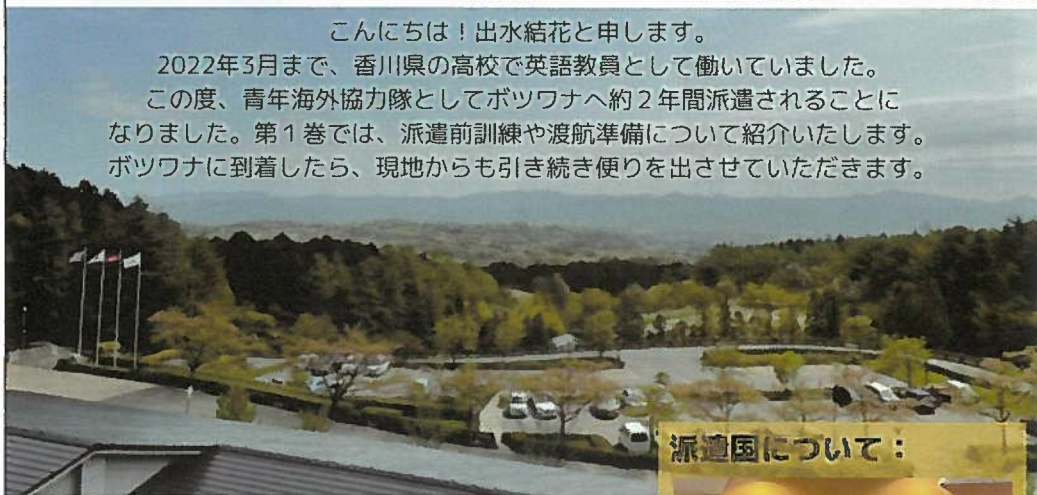
文責: 出水結花

ボツワナだより

こんにちは！出水結花と申します。

2022年3月まで、香川県の高校で英語教員として働いていました。

この度、青年海外協力隊としてボツワナへ約2年間派遣されることになりました。第1巻では、派遣前訓練や渡航準備について紹介いたします。ボツワナに到着したら、現地からも引き続き便りを出させていただきます。



派遣について：

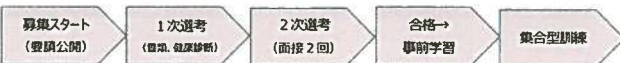


派遣国：ボツワナ共和国
派遣期間：令和4年7月～6年3月
(2022年度1次隊)

職種：環境教育
要請内容：郡庁の公衆衛生課に所属し、ゴミ処理場の整備、リサイクルの仕組みづくり、学校や地域における3Rs(減量・再利用・再利用)の授業やワークショップなどを実施します。

青年海外協力隊について：

途上国の国づくりに貢献するため、現地の人々と生活を共にし、同じ目線で課題解決のための活動を行う人材を派遣している。金銭やモノの支援ではなく、「人的支援」の形の国際協力。日本国籍を有し、応募時に20歳～45歳であれば誰でも応募できる。シニア隊員は69歳まで応募可能。年2回(春・秋)、HP上に公開される途上国からの要請を見て、これまでの経験や資格などを参考に、自分に合ったものを選んで応募します。職種は「小学校教育」「理数教育」「体育」などの教育分野、「看護」「介護」などの医療分野、「柔道」「サッカー」などのスポーツ分野に加え、「農業」「マーケティング」「美容師」「自動車」「観光」など、実に200近くあります！



派遣国について：



日本の約1.5倍の国土に、約50分の1の人口が住んでいます。1967年のダイヤモンドの発見により急速に発展し、「アフリカの優等生」とも呼ばれています。また野生動物の宝庫で、アフリカ象の個体数は世界一です。セツワナ語という現地語がありますが、イギリスの保護領であった歴史から、ほとんどの国民が英語を話すことができます。内陸国のため、雨や水が大変貴重で、お金の単位Pulaは現地語で「水」を意味するほどです。国旗の水色も同じく水を表し、中央の白黒のラインは国章であるシマウマと、黒人と白人が手を取り合って国を作る様子を表しています。

「訓練」ってなに？

【Q1】どこでやるの？



福島県二本松市の、とてもどかな山間の広大な敷地内にあります。基本的な宿泊施設、教室、図書室などの他、運動場や体育館もあります。



【Q2】どんなことをするの？



訓練生活の大半が語学訓練です。二本松訓練所では、英語・フランス語・ポルトガル語・アラビア語・タイ語・ベトナム語・ラオ語・クメール語(カンボジア)を、派遣国で使用する予定の候補生が訓練しています。ほぼ毎日、8:45-17:00までみっちり外国語を勉強します。その他、「感染症対策講座」「体力増進講座」などの授業で現地の生活に必要な知識を身に付けたり、毎週のように数種類の予防接種を打ったりしました。空き時間には図書館や自習室だけでなく体育館や運動場も利用できます。そうそう、語学の宿題や講義のレポートの課題が毎日大量に出ました！宿泊棟にはミーティングや勉強ができるスペースがあり、同じ班の人たちと協力して課題に取り組みました。土曜日も講座があることがありましたが、日曜日は地域の温泉街や山登りをして過ごしました。

渡航準備



訓練後約1ヶ月は、自宅でオンライン授業、荷物整理、行政の手続き、県知事や教育長・県議会議員・高松市長への表敬訪問などを行っていました。



◀ 公用旅券
(政府関係者であることを示す)

▶ スーツケースは2つ！



7月27日、3人の同期隊員と共に出国し、約24時間後ポツワナへ到着します。首都のJICA事務所まで派遣後訓練を3週間受け、各々の任地に配属されます。次回ポツワナよりは現地から発信します！

See you soon!

Nihonmatsu Training Center をもう少し。

— 体育館 —



学校の体育館と同じくらいの広さです。バレー、バスケ、パドミントン、フットサル、卓球…多くのスポーツが可能。理由は、様々な競技を専門とする隊員が居るからです。その他の隊員も息抜きや親交のために体育館を利用しました。

— 図書館 —

地域別、職種別の書籍が揃うだけでなく、自習室や過去の隊員の活動報告が読めるPCなどもあり、朝早くから夜遅くまで自習する隊員もたくさん居ました。図書館の管理も隊員が協力して行います。



— 食堂 —



毎日3食栄養満点でもとても美味しいご飯で疲れた私たちを癒してくれました。中でも週に1度、隊員の派遣国の料理が出る日はみんなテンションが上がりました。訓練中盤、隊員のアイディアで、食べられない皿を置く「残色0コーナー」が設けられました。